

財団だより

〈第 80 号〉

特別号

一般財団法人 全国強制抑留者協会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2
九段第二勤業ビル2階
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548

シベリア抑留関係者の皆様へ

◆中央慰霊祭開催のお知らせ◆

旧ソ連・モンゴル等に抑留され、死亡された
方々の中央慰霊祭を左記の通り開催します。

◆日時

令和五年九月二十八日（木）
午後一時より（約一時間の予定）

◆会場

都市センターホテル
（三階コスモスホール）
東京都千代田区平河町二一四一一
TEL〇三―三二六五―八二一一
（代表）

主催

一般財団法人全国強制抑留者協会

後援

総務省

◆申込方法

参加ご希望の方は、郵便番号・住所・氏名・電
話番号をご記入の上、往復はがきで九月一日
（金）迄にお申し込み下さい。

宛先

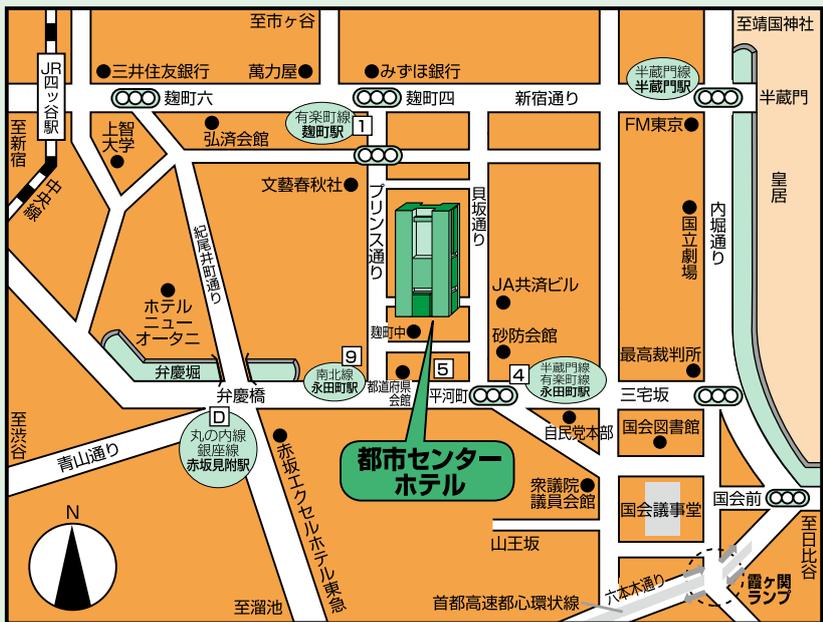
〒一〇二〇〇七三
東京都千代田区九段北一―八―二
一般財団法人全国強制抑留者協会
TEL〇三―三二六―一六五六五

コロナ感染症状況により中止または大幅に
規模を縮小して開催する場合がありますので
ご了承下さい。
その際には、改めてホームページ等にてご
連絡させていただきます。

都市センターホテルまでの地図

電車の場合

- 東京メトロ 有楽町線
「麹町駅」半蔵門方面1番出口より
徒歩4分
- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線
「永田町駅」4番・5番出口より
徒歩4分
- 東京メトロ 南北線
「永田町駅」9番出口より徒歩3分
- 東京メトロ 丸の内線・銀座線
「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- JR中央線
「四谷駅」麹町出口より徒歩14分



支部紹介

岩手県支部

【組織】

支部長・佐々木正

会員・令和5年度現在三百名（内役員八名）

【本年度の活動】

「ふるさとの山に向かひて言うことなしふるさとの山はありがたきかな…」ご存じ岩手県出身の、石川啄木の詩です。

岩手県は、四国ほどの広さがあります。雪国ですが自然に恵まれ、春夏秋冬、快適に過ごしております。

この素晴らしいふるさとに帰ることのできなかった、シベリア抑留犠牲者にとって、無念な思いだったと思います。岩手県のシベリア抑留犠牲者数は約八千人、この内、約千二百人が抑留中に犠牲になりました。

戦友の方々の思いから「シベリア抑留死亡者追悼式」を盛岡市自治会館で開催しました。この追悼式を契機に、翌年、「全国戦後強制抑留



写真「乙女の像」

補償要求推進協議会岩手県連合会」を結成しました。さらに、昭和六二（一九八七）年には「一般財団法人全国強制抑留者協会岩手県連合会」に改称、現在に至っております。

平成六（一九九四）年には、シベリア抑留平和祈念像を建立しました。盛岡市高松の池の湖畔に「乙女の像」が、ひまわりの花をかかげ、遠くシベリアの方向をみつめながら世界が平和になることを祈っています。

この「乙女の像」は、彫刻家佐藤忠良氏（宮城県出身・シベリア抑留経験者）の作品です。

以後、この「乙女の像」の前で慰霊祭を開催してまいりました。しかし、会員の高齢化により、雨天時等の対応が困難となり、現在では盛岡市の上田公民館に会場を変更しました。これからも可能な限り、毎年開催するよう努力してまいります。

【課題】

この活動を次世代に継承することが必要となっており、今なお世界の何処かで戦争が繰り返されています。それだけに平和活動の一環として、「慰霊祭」は勿論のこと「シベリア抑留を語り継ぐ集い」などを開催し、次世代の皆様にも呼びかけ積極的に活動を展開して参りたいと思っております。

岩手県支部事務局長 菊地蓮一

令和五年度 実施事業ならびに予定 (十月～十二月)

一、シベリア抑留関係地方展示会

- 新潟県支部 十月二十七日～二十九日
- 新潟市新潟市民プラザ
- 三重県支部 十一月十七日～十九日
- 伊勢市いせトピア

二、シベリア抑留の労苦を語り継ぐ集い

- 岩手県支部 九月三日（変更）
- 盛岡市上田公民館
- 新潟県支部 十月二十八日
- 新潟市新潟市民プラザ
- 三重県支部 十一月十九日
- 伊勢市いせトピア

三、戦後強制抑留者慰霊祭

- 岩手県支部 九月三日（変更）
- 盛岡市上田公民館
- 石川県支部 十月七日
- 金沢市本多の森公園慰霊碑前
- 福岡県支部 十月二十二日
- 福岡市護国神社内「参集殿」
- 静岡県支部 十一月八日
- 富士市中島小公園慰霊碑前
- 鳥取県支部 十二月十七日
- 湯梨浜町慰霊碑前